
夜の独り言

図ん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

夜の独り言

【Nコード】

N9528E

【作者名】

図ん

【あらすじ】

色々書いて載せてみようと思ってます。詩を考えるのって楽しいですね。でも、これは詩なのか・・・分かりません^^;

旅日和

1、旅日和

遠くで生まれた

美しい人と

どの地で会えるのかな

この旅の途中

出来すぎた道筋

逆らう火は

周りの冷や汗に

すべて消される

毒も無く敵も居なく

こだわりは

平和な趣味

与えられた

歩幅と靴で

逃げられぬ

順序を辿る

爆発したい

この閉塞感

今の僕の心は

この星の雑念

今行かなければ
怖くなる
旅立つ事を
嫌々になって

世界は貫けているのに
形は何でもいい
さあ行こう

あの河は
海と重なり
あの山は
空と駆け引き

世界は広い
どこまでも遠い
端から端まで
知らぬ場所

太陽の日照りに
沿って行こう

雨の一降り
寛大に行こう

風を追って
黄金の街に
踏み込み
捉えられよう

もう元に戻る気は無い
家の鍵は砂漠に刺して来た

遠くで奏でられた
最果ての唄が
会いたい人になる
この旅は終わらない

2、春の昼

待ち伏せた陽気の中
春の七画を歩く

テーブルに紅茶を少し残して
君の到着を待つよ

冬には雪を蹴った
この公園にも人が増えてきた

まだ少しゆっくりかな
僕を見た君が少し早足になると
うれしいな

巣立っていく小鳥達
日を影にしながら
羽ばたいていく

今日は予定を忘れて
やっぱりここに居よう

大きく腕をあげ
読んでいた小説も落として
旅行の話をしようよ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9528e/>

夜の独り言

2011年1月7日02時05分発行